

西武鉄道5路線の存続・維持を求める決議

株式会社西武ホールディングスの筆頭株主であるサーベラスは、公開株式買付けを実施するにあたり、西武鉄道株式会社の西武秩父線や国分寺線、山口線など5路線の廃止を提案するとの報道があった。

こうした中であって、本市をはじめ、所沢市、飯能市、入間市で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会では署名活動を展開し、5月20日には株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、鉄道路線の維持等を求める要望書を321,194名の署名簿を添えて提出した。

いうまでもなく鉄道は鉄道利用者、沿線居住者のみならず社会的に大きな意義を持つ公共性の高い事業である。日々、通勤や通学など市民の生活基盤として利用されている各路線が報道にあるように廃止された場合の混乱、影響は計り知れないものがある。

よって、狭山市議会は株式会社西武ホールディングス及び西武鉄道株式会社に対し、地域住民にとって重要な公共交通機関である西武鉄道5路線の存続・維持を強く求めるものである。

平成25年6月4日

埼玉県狭山市議会